



跡地活用計画も進行中

現在、沼津駅周辺にある車両基地と貨物駅は、前ページで紹介したように、移転先の工事が進んでいます。並行して、移転後の広大な跡地を活用するための検討も進めています。ワークショップやパブリック・コメントなどにより市民の皆さんの意見を伺いながら、令和6年11月に「貨物駅跡地利用基本計画」を策定・公表しました。

現在の貨物駅周辺は、工場や物流倉庫のほか、戸建てを中心とする住宅街が立地していますが、緑地や災害時の活動拠点も十分ではありません。

こうした現状を踏まえ、基本計画では「平時・有事にフレキシブルに利用される防災・コミュニティの地域拠点」をコンセプトに、防災公園を整備していくこととしています。災害時には防災機能を効果的に発揮する拠点となり、平時には誰もが楽しく、居心地よく過ごせる憩いの場となるよう設計・整備を進め、令和13年度の供用開始を目指します。

一方、沼津駅の東側にある車両基地の跡地には、土地区画整理事業により都市基盤の整った街区が整備されます。こちらの跡地についても、検討を進めていきます。

未来への歩みを着実に進め、 希望を実感できるまちに

私たちが住む沼津市には、様々な都市機能が集積する県東部の拠点都市としての役割を、将来にわたって果たしていく使命があります。

なかでも中心市街地においては、都市機能の強化に加え、沼津ならではの魅力をさらに高めていかなければなりません。

中心市街地のまちづくりの中核をなす沼津駅周辺総合整備事業が、いよいよ本格的に展開する局面を迎えました。鉄道高架事業をはじめとする様々な構成事業により、南北市街地の分断解消や、新たに生み出される土地の有効活用を図り、都市的魅力を再構築するこの事業は、本市の未来に不可欠なものであります。

今後10～15年で構成事業の多くが形を現し、ヒトとモノの動きが大きく変わっていきます。

着実な都市基盤の整備はもちろんのこと、何より重要なのは、同時進行で沼津駅周辺のまちなみをヒト中心の魅力ある空間に再編していくことであると捉えています。

沼津駅周辺を、多くの市民や来訪者が集い、交流し、住まい、回遊する都市の顔として再構築していくため、市民の皆様と方向性を共有しながらまちづくりをともに進め、「誇り高い、元気なまち沼津」を目指し歩んでまいります。



沼津市長
頼重 秀一

ミライの沼津駅は夢いっぱい

鉄道高架化によって生まれ変わる沼津駅舎や駅前広場。将来に向けてデザイン検討に着手しています。

その一環として市が昨年7月に開催した「ミライの沼津駅絵画コンテスト」では、小中学生・高校生が「こんな沼津駅がいいな」と自分が大人になったときの沼津駅を想像し、自由に未来のまちの姿を描きました。

緑豊かな広場や人が集うにぎやかな駅前、沼津らしい城や干物などが描かれた応募作品は72点に及び、どの作品も沼津の躍動する未来への期待が込め

られたものでした。

絵画コンテストの入賞作品は、キラムッセぬまづに展示しているほか、市ホームページにも掲載しています。夢いっぱいの子供たちの作品を、ぜひご覧ください。

まちの未来を担う子供たちの期待に応えられるよう、沼津駅舎や駅前広場のデザイン設計には、多世代の意見を踏まえた検討を進めていきます。



<市長賞>
第五小学校3年生
秋山翔汰さん
「みんなが集まる沼津駅」

沼津駅に行くと楽しいことがいっぱいあるといいなあと
思って描きました。

未来の沼津は、「みんなが楽しく暮らせるまち」になったらいいなと思います。

